

シリーズでお届け!!

高品質な検査は、良質な検体採取から!!

④アンモニアは即提出が絶対!!



緊急 (内 9301)

アンモニアはアミノ酸代謝産物の1つで、肝臓・腸管・腎臓で産生されます。採血後、赤血球からアンモニアが遊離されたり、蛋白やアミノ酸からアンモニアが生成されたりすることで濃度が上昇します。したがって、採血後は速やかに提出していただくか、提出できない場合は氷冷にて保存し、なるべく早く提出していただく必要があります。

今回は、室温と氷冷放置の時間経過によるアンモニアの測定値の上昇について、20名分の検体で検討した結果をご紹介します。

室温放置

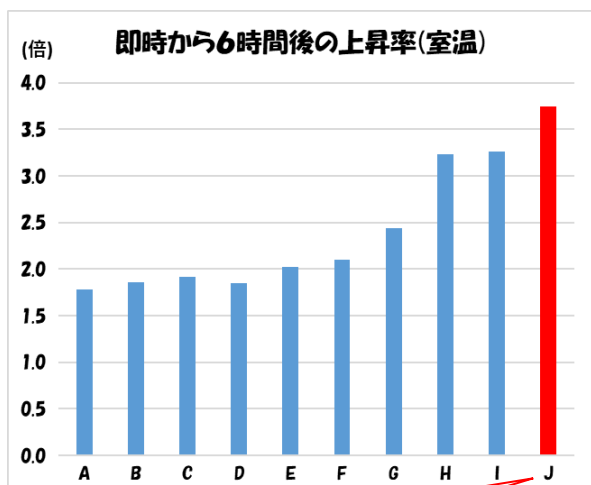
	即時	1時間	3時間	6時間		即時	1時間	3時間	6時間
A	82	96	121	146	F	38	50	64	80
B	50	59	75	93	G	36	49	65	88
C	49	61	76	94	H	17	26	38	55
D	47	55	68	87	I	27	41	61	88
E	36	45	56	73	J	16	26	42	60

1時間で1.6倍上昇!

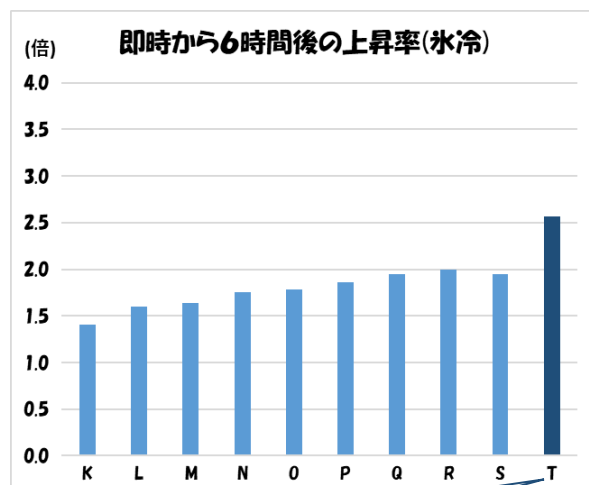
氷冷放置

	即時	1時間	3時間	6時間		即時	1時間	3時間	6時間
K	52	56	66	73	P	42	50	63	78
L	47	51	67	75	Q	18	24	27	35
M	55	65	74	90	R	23	28	35	46
N	62	81	89	109	S	20	22	31	39
O	28	34	42	50	T	23	28	46	59

1時間で1.3倍上昇!



室温放置で
最大 3.8 倍上昇!!



氷冷放置でも
最大 2.6 倍上昇!!

アンモニアは即提出しましょう!





血液検査室からのお知らせ

血液(内 9304)

1. リンパ球サブセット採血管変更

令和3年7月1日オーダー分より、リンパ球サブセット(CD4・CD8、CD3・CD19)の採血管および受付時間を下記の通り変更いたしました。オーダー位置、分析装置に変更はありません。

変更内容	変更前	変更後
採血管	紫 5 (EDTA-2Na)	紫粉 2 (EDTA-2K)
		
採血量	5mL	2mL
受付時間	13時まで	15時まで

2. T細胞サブセット (BALF) のオーダー開始

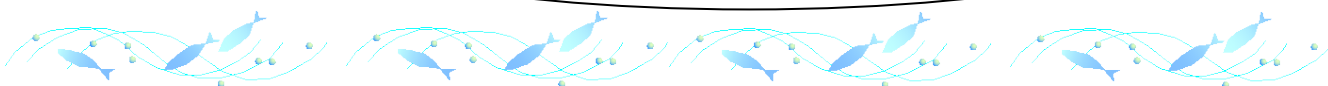
令和3年7月1日より、T細胞サブセット検査に検体種「気管支肺胞洗浄液(BALF)」を追加しました。検査の内容は従来通り、CD4(%）、CD8(%）、CD4/CD8 の報告となります。採取容器、分析装置に変更はありません。

オーダー位置	機能別 2 【免疫学的検査】 17.リンパ球サブセット
オーダー名	T細胞サブセット(BALF)



リンパ球サブセット、T細胞サブセット(BALF)の

お問い合わせは血液検査室まで!



免疫血清検査室からのお知らせ

免疫血清(内 9307)

令和3年5月10日測定検体より、甲状腺刺激ホルモン(TSH)試薬をIFCC基準適合検査値に適合した新試薬「ルミパルスプレスト TSH IFCC」に変更しております。

1. 変更点

	従来法	新法
試薬名称	ルミパルスプレスト TSH	ルミパルスプレスト TSH IFCC
基準範囲	0.74~4.12 μ IU/mL	0.61~4.23 μ IU/mL

2. 従来法との相関 (n = 50)

回帰式: $y = 1.27x - 1.59$

相関係数: $r = 0.999$





令和2年度臨床分離株の抗菌薬感受性状況



細菌（内 9305）

本院で検出された主要臨床分離株の薬剤感受性率（％）を、下記に報告いたします。

☆腸内細菌



感受性率 80～89％



感受性率 ≥ 90％



対象外

菌名	株数	ABPC	PIPC	A/S	P/T	ACV	GEZ	CFDN	GMZ	CTM	CPDX	CAZ	CTRX	C/S	CFPM	GPR	FMOX	IPM	MEPM	GM	AMK	MINO	AZI	FOM	GP	ST	LVFX	CPFX
E. coli	485	58	63	80	99	97	68	74	99	74	74	75	75	98	76	76	99	100	100	95	100	95	75	99	88	80	67	67
K. pneumoniae	141	0	69	86	97	96	82	91	99	90	92	93	93	99	93	93	99	100	100	99	100	85	91	88	75	85	96	91
K. oxytoca	88	0	75	89	95	99	24	100	100	90	97	100	98	98	100	100	100	100	100	100	95	88	92	97	94	100	100	
Klebsiella(Enterobacter) aerogenes	60	0	65	0	68	0	0	33	0	30	55	68	68	97	95	93	25	77	100	100	100	93	62	92	88	97	98	98
E. cloacae complex	114	0	74	0	80	0	0	13	0	13	43	75	64	92	96	93	21	91	100	100	100	95	64	88	67	91	97	96
S. marcescens	77	0	73	0	77	0	0	1	0	0	52	78	68	83	99	79	77	84	100	100	100	96	78	92	15	99	97	96
C. freundii	36	0	89	0	94	0	0	64	0	0	58	83	81	97	97	97	64	89	100	100	100	89	81	100	56	92	97	94
P. mirabilis	34	94	85	97	91	97	68	97	100	91	100	88	100	100	100	100	94	62	100	97	100	6	88	88	78	79	97	94
P. vulgaris	5	0	80	80	80	100	0	40	80	0	80	80	80	80	80	80	80	80	100	100	100	80	80	80	100	100	100	100
M. morganii	35	0	69	31	86	0	0	3	97	0	20	69	71	91	100	80	77	40	100	94	100	60	74	26	56	94	94	94

☆ブドウ糖非発酵菌

菌名	株数	PIPC	A/S	P/T	CAZ	CTRX	C/S	CFPM	GPR	IPM	MEPM	DRPM	GM	AMK	MINO	AZI	FOM	GP	ST	LVFX	CPFX	STFX
<i>P. aeruginosa</i>	194	67	-	68	68	-	68	73	62	86	93	94	97	98	-	62	59	-	-	88	92	98
<i>Acinetobacter spp.</i>	89	76	98	90	67	49	-	88	-	100	100	-	94	99	97	-	-	-	96	93	92	-
<i>Steno. maltophilia</i>	74	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	34	80	82	-	-
<i>Bur. cepacia</i>	4	-	-	-	100	-	-	-	-	-	75	-	-	-	75	-	-	75	75	50	-	-

☆ブドウ球菌

菌名	株数	PCG	ABPC	A/S	P/T	CEZ	CPDX	CAZ	C/S	CTRX	CFPM	FMOX	IPM	MEPM	GM	ABK	TEIC	EM	AZM	GAM	OLDM	MINO	FOM	ST	LVFX
CNS	843	26	31	45	45	45	43	41	45	45	45	45	45	45	64	99	99	54	54	57	69	97	76	89	47
MSSA	597	53	54	100	100	100	40	80	100	100	100	100	100	100	83	100	100	74	75	77	82	99	99	97	84
MRSA	185	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	98	100	22	22	26	34	76	87	100	25

☆腸球菌

菌名	株数	PCG	ABPC	IPM	MEPM	EM	MINO	TEIC	LVFX	RFP
<i>E. faecalis</i>	341	100	100	100	89	9	28	100	97	48
<i>E. faecium</i>	94	16	19	15	3	8	46	100	18	7
<i>E. avium</i>	43	56	79	88	19	30	77	100	86	100
<i>E. casseliflavus/gallinarum</i>	28	100	100	100	82	43	89	100	93	14

☆インフルエンザ菌

菌名	株数	ABPC	A/S	CTX	CTRX	CCL	CPDX	MEPM	GAM	LVFX	CP	ST
<i>H. influenzae</i>	33	16	48	100	100	21	100	100	82	100	100	73

■ブドウ球菌・腸球菌は、
VCM・LZD・DAP が 100%感受性です。
※*E. casseliflavus/gallinarum* の VCM については耐性遺伝子を保有しているため『*』で結果を報告しています。

■アンチバイオグラムには、30 株以上が必要です。

○印の菌は参考値となります。



委託(外注)検査変更のお知らせ



委託 (PHS 6651)

令和3年10月1日依頼分より、検査内容が変更される項目について下記に示します。
内容をご確認ください。

【SRL】

検査項目	変更内容	変更前	変更後
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	測定方法	ECLIA法	CLEIA法
	基準値	16未満 (IU/mL)	3.3未満 (IU/mL)
抗サイログロブリン抗体	測定方法	ECLIA法	CLEIA法
	基準値	28未満 (IU/mL)	19.3未満 (IU/mL)
T3 (トリヨードサイロニン)	測定方法	ECLIA法	CLEIA法
	基準値	0.80~1.60 (ng/mL)	0.62~1.16 (ng/mL)
T4 (サイロキシン)	測定方法	ECLIA法	CLEIA法
	基準値	6.10~12.4 (μg/dL)	4.53~8.38 (μg/dL)

また、検査内容の変更に伴い、検査オーダー画面での検索機能が使用できません。
お手数ですが、オーダー画面からの検査依頼をよろしくお願い致します。

【オーダー位置】

①→②→③までは共通！

④ T3・T4

→ 「02. 視床下部・下垂体・甲状腺(副)」

④ 抗サイログロブリン抗体・
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
→ 「14. 自己免疫」



人事往来

【採用】

岩垣 侑真

(配属)

品質管理

(5月1日付)

【退職】

藤田 幸那

(所属)

検体(緊急・化学・免疫)

(6月30日付)

松本 真依

生理

(8月20日付)

【異動】

畑山 晶

(旧所属)

形態(血液・一般)

→

(新所属)

検体(緊急・化学・免疫)

(7月1日付)



<スタッフ>

赤岩 沙紀 村田 梨菜 川西 智子
松本 真依 多田 智紀 平尾 早紀
藤野 恵 中川 裕美 漆原 南実
森田 沙瑛 佐藤 雅美 中尾 隆之

<編集後記>

猛暑が続いておりますが体調は大丈夫でしょうか？去年に引き続きコロナ禍ではありますが、気を引き締めて夏を乗り切りましょう。(多田)

